



平成 28 年 2 月 4 日

各 位

会社名 シャープ株式会社
 代表者名 取締役社長 高橋 興三
 (コード番号 6753)

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期第 3 四半期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）の連結決算及び個別決算において、以下のとおり特別損失に計上しましたのでお知らせいたします。

記

1. 主な特別損失の内容

第 3 四半期（平成 27 年 10 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

内 容	金 額	
	連結	個別
減損損失	2,746	2,715
収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった生産設備等の減損損失		
コンシューマーエレクトロニクス（栃木工場の金型・長期前払費用等）	112	112
エネルギーソリューション（葛城・堺工場等の建物・ソフトウェア等）	409	409
ディスプレイデバイス（亀山・三重工場等の建物・生産設備等）	2,194	2,193
中国及びインドネシア等の子会社（機械装置等）	24	—
売却予定である生産設備等の減損損失		
米国及びメキシコの子会社（建物等）	7	—
事業構造改革費用	1,402	△ 128
当社及び主要国内連結子会社における従業員の希望退職に係る費用	△ 12	△ 12
米州向け液晶テレビ事業の構造改革に伴う解雇費用、資産処分損失等	1,567	37
電子デバイスの構造改革に伴い、販売が見込めなくなった、たな卸資産評価損等	△ 153	△ 153
訴訟損失引当金繰入額		
T F T 液晶カルテルに関して、米国での民事訴訟で見込まれる損失	1,458	1,458

(注) 連結は百万円未満を四捨五入、個別は百万円未満を切捨てして金額を表示しております。

〔ご参考〕 第3四半期累計期間（平成27年4月1日～平成27年12月31日）の内訳

（単位：百万円）

内 容	金 額	
	連結	個別
減損損失	13,867	9,801
収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった生産設備等の減損損失		
コンシューマーエレクトロニクス（栃木工場の金型・長期前払費用等）	1,108	1,108
エネルギーソリューション（葛城・堺工場等の建物・ソフトウェア等）	2,193	2,193
ディスプレイデバイス（亀山・三重工場等の建物・生産設備等）	6,497	6,497
中国及びインドネシア等の子会社（機械装置等）	1,555	—
生産体制の見直し及び集約予定である生産設備等の減損損失		
電子デバイス（三原工場の建物・機械装置等）	3	2
売却予定である生産設備等の減損損失		
米国及びメキシコの子会社（建物等）	2,511	—
事業構造改革費用	36,704	28,765
当社及び主要国内連結子会社における従業員の希望退職に係る費用	24,305	19,950
米州向け液晶テレビ事業の構造改革に伴う解雇費用、資産処分損失等	6,084	2,611
電子デバイスの構造改革に伴い、販売が見込めなくなった、たな卸資産評価損等	6,315	6,204
訴訟損失引当金繰入額		
TFT液晶カルテルに関して、米国での民事訴訟等で見込まれる損失	2,036	2,036

（注）連結は百万円未満を四捨五入、個別は百万円未満を切捨てして金額を表示しております。

2. 業績への影響

なお、業績への影響については、本日公表の「平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に織り込み済みです。

以 上